



西中学校だより

令和7年度

7月号

「100%できなくても100%を目指すことはできる」

校長 門井 五雄

先日、放課後の校庭を見ていたら、サッカー部やテニス部が練習をしていました。どの選手も、軽やかな動きで上手にボールをさばいていました。選手一人一人が練習の意味を理解し、主体的によく考えて取り組んでいました。さすが地区大会で上位に入るチームだなと思いました。

しかし、練習の意味を理解し、主体的によく考えて取り組むと言うのは簡単ですが、毎日の練習に、主体的によく考えて取り組むのは容易ではありません。正直、半分ぐらいは主体的によく考えて取り組むことはできると思いますが、人間ですから半分ぐらいは気が抜けることもあるのではないのでしょうか。

逆を言えば、主体的によく考えて取り組むことが100%に近づくことで、その人はきっと他の人よりも上達するのだと思います。

前に聞いた話ですが、ある会社の社長さんは、暇さえあれば工場や研究所に行って、部品を眺めたり、研究者と話し合ったりするのが好きだったそうです。

ある日、その会社が作った自動車のある部品が故障することがわかりました。社長も研究者と一緒に、どうしたらよいかいろいろアイデアを出し合いました。そのなかで、いいアイデアが出たのですが、とてもたくさんお金がかかるアイデアでした。

そのアイデアに対して担当者が「この故障はわずか1万台に1回くらいなので、対策しなくても故障が出たらその都度部品を交換すればいいのではないか」と提案しました。

すると、社長はすごく怒って「1万台に1回のその1台を買ったお客さんにとって、それは100%の確率ではないか」と言ったそうです。

たとえ、全体では1万台に1台であっても、その一つを買った人にとってはそれがすべてです。車は高級なものですから何台も買うものではないので、その1台が故障したら「それは100%だ」というのです。

これと同じようなことは、私たちの生活でもあります。例えば、いつもすばらしい挨拶をしている人がいます。その人はほとんどすばらしい挨拶をしているのですが、たまに元気がないときもあります。100回に1回ぐらい元気がない挨拶をしてしまうとして、たまたま、その元気がない挨拶をされた人にとっては、元気のない挨拶が100%となります。

部活動でも、自分が全力でプレーした後、仲間が気を抜いた動きをしていたらがっかりしてしまいます。また、テストでも、100点を取ることができなくても、100点を目指して勉強することはできます。

どんな時でも100%というのは難しいことですが、100%を目指すことはできます。ぜひ、生徒の皆さんも100%を目指せる人になってください。

最後に、保護者や地域の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動への御支援と御協力を賜り深く感謝いたします。今後も学校と家庭、地域が連携した教育活動を推進しますのでよろしくお願いします。



体育大会

6月13日(金)、体育大会が実施されました。来賓の皆様、保護者の皆様の御協力や温かい御声援をいただき、無事開催することができました。ありがとうございました。大会スローガン『「必笑必勝」みんな輝いていてイイじゃん』のとおりに、みんなが輝く行事となりました。一部ではありますが、生徒の様子を紹介します。



学校運営協議会

6月20日(金)に第1回目の学校運営協議会が開催されました。委員の皆様と校内を一巡し、生徒・教職員・施設等を見ていただきました。また学校運営についても様々な御意見をいただきました。今後も地域の皆様の御支援・御協力のもと、西中学校をより良い学校にしていきます!

行事等	
日	曜
1	火
2	水
3	木
4	金
5	土
6	日
7	月
8	火
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日
14	月
15	火
16	水
17	木
18	金
19	土
20	日
21	月
22	火
23	水
24	木
25	金
26	土
27	日
28	月
29	火
30	水
31	木